

令和7年11月 基山町定例教育委員会 会議録(要点筆記)

日 時：令和7年11月28日(金)9:30開始
場 所：基山町庁舎2階 203会議室
教育委員：出席4名 田口英信(職務代理者)、津川典善、福永真理子、秋吉奈穂
教育長：柴田昌範
事務局：井上課長、堤係長、水田指導主事、姉川指導主事
傍聴者：なし

日程1 教育長あいさつ

(教育長)

これより、令和7年11月定例教育委員会を始めます。

中学校では、今週の水曜日から後期中間試験が行われていますが、三年生については、昨日から三者面談も行われており、受験が近付いてきている状況です。役場では、12月定例町議会が来週から始まるということで、教育委員会関係でも様々な一般質問が出ています。ガイダンスセンターについては、定例教育委員会でもいろいろ協議してきましたけれども、歴史まちづくり推進協議会で承認されて庁議で基本構想については決定に至っています。趣旨や目的についてこの12月議会の中でしっかりとご説明を行っていきたいと思っております。

日程2 教育長報告

(教育長 以下、資料にもとづき説明)

県の教育長会の内容について報告します。

人事異動について県教育委員会から示された部分で、昨年度と比べて特に大きな変更等はありません。

中学校の35人学級について、県が国より1年先行して実施していて、来年度は、中2までの35人学級を目指されています。通級指導教室は、定数化されて、来年度からは、13人で一つの学級ができることになります。適正な就学指導をという国や県の方針もあり、来年度は、特別支援学級の自閉・情緒障害の学級から通級指導教室に移るお子さんが増えるのではないかと思います。

それから、11月18日に佐賀県ICT活用推進協議会がありました。基山町の取組で、eライブラリの利用や毎日の持ち帰り学習を行っていることなどを紹介しました。ほかの市町では、GIGAスクール端末の活用については、まだ進んでいないところも多い感じがしました。また、GIGAスクール第2期ということで、タブレットの更新時期にきていますので、そのことに関する情報交換などもあったところです。

(委員) ICT活用については基山町は利用している方だと思う。何のためにICTを活用したいのか明確にしておくとよりいいのではないか。

(教育長) 数年前と比べて、活用状況をみると使うときに充電保管庫から取り出すというやり方ではなく、机の上に置かれたり、使いたいとき机の引き出しからすぐに取り出したりと、学習道具の一つとして使いだしており活用が進んでいると思っている。

(教育長)

次に、高校入試制度についてです。(※資料をもとに説明)

新聞報道等でありましたが、今の中学校1年生から変わることになりますが、これは県教委で決定された事項になります。今まで3月上旬に県立高校の試験が行われていましたが、高校授業料無償化等の影響で

私立高校との競争も激しくなることも影響しているのか、2月に試験を実施することになりました。

高校の先生方は入試事務が早く終わることで次年度の準備もスムーズにいくと思いますし、中3の子どもたちは自由な時期が増えることになるのでいいことなのかもしれません。ただ、2月から3月が中学3年生が一番勉強して学力を身に付けていた時期ではあるので、入試が早まることで、どういった影響が出るのだろうと少し心配もするところではあります。

続いて、町の教育行政に関する報告です。

町長・教頭会において、ICT関係ですが、GIGAスクール端末の積極的な活用についてアンケート結果をもとに各学校へ依頼しています。利用状況をみてみると、まだまだ十分に活用されていない先生もおられるようなので、十分に有効活用を行ってもらうようお願いしたところです。

また、小学校の体操服の見直しについて、見本を準備して先生たちにアンケートをお願いしました。アンケートの結果、今までどおりの綿混の下と袖を絞ったタイプのものを継続すべきだという意見は、そう多くはありませんでした。Tシャツタイプでいいのではないか、どちらでもいいのではないかという意見が多くだったので、基本的に保護者がどちらを選んでもいいようにしようかと思っています。販売店は、仕入れの関係もあるので早めに結論を出してほしいということでしたので、ここでご意見を教育委員の方々にもいただければと思っております。なお、このことについては、保護者にも別紙のような形で周知する予定です。

(委員) いずれは、綿混の絞った今のタイプはなくしていく方向なのか。

(事務局) 感覚過敏のお子さんは綿混がいいという人もいるので、選択肢の一つとして残していくのではないかと思う。

(委員) 夏の体操服については、そういう方向でいいのではないか。

(委員) 今、新1年生は学校での体操服販売などはやっていないのか。

(事務局) 以前は、新1年生の入学説明会のときなどにあっていたのかもしれないが、今は行われていないようである。

(教育長) 冬の体操服については、Tシャツタイプのものはないため、従来のものとはなるが、ご意見はないうだろか。

(委員) 冬の指定体操服の着用状況はどうなのか。

(事務局) 学校に聞き取りをしたところ、着用しているということだった。

(委員) 学校では、白であれば、特に規定がないとも聞くこともあるので、そのあたりを明確にしてもらうといいのではないか。

(教育長) 夏と同じように名札を付けていれば、学校は特に困ることはないとと思うので、そのあたりも入れて、保護者周知の文書を用意できればと思う。

(教育長)

続いて、英語検定についてです。

小学6年生から中学3年生まで英検IBAの受験料を全額補助しています。それとは別に英検を受検した児童生徒については、受験料も一人年間1回を全額補助しています。中3については、県の補助もあり、全員に全額補助で英検を受けさせることもできております。新しいことも始めたことと、資料に記載のとおり、受験料も年々値上がりしているので、補助制度を見直すことも考えていきたいと考えています。

日程3 町立小中学校等の現況報告

(教育長)

次に、日程3「町立小中学校等の現況報告」を指導主事から説明をお願いします。

(指導主事) 資料にもとづき説明

- ・小中学校の状況について (児童生徒及び教職員)

各学校の行事に関する報告及び生徒指導関係などについて報告。

(指導主事)

- ・11月7日に基山町教育支援委員会が行われて、来年度の特別支援学級等の判定を行った。
- ・基山小3年生1クラス、11月18日から20日までの3日間インフルエンザによる学級閉鎖を行った。
- ・修学旅行にはインフルエンザで参加できない児童もいたが、他に大きな広がりや影響はなかった。
- ・教育支援センターまいるーむの利用状況について ※資料にもとづき説明
毎日5人から7人、ある程度決まった子が来ている。
11月に佐賀の教育センター内にある「しいの木」主催のミニコンサートに基山町から5名参加した。
東部地区の教育支援センターからの参加は基山町だけだったが毎年あるといいなと思っている。

(教育長)

次に第9回きやま創作劇関係についてです。今年の創作劇「夢を継ぐ者」は、田代領の田代代官所副代官であった賀島兵助公の物語で鳥栖市と深い繋がりがあるものとなっていることから、鳥栖市内の中小学生にも是非、足を運んでいただきたいので、各学校にポスターの掲示及び各教室にチラシの掲示をお願いしました。鳥栖市教育委員会からも快諾でしたので、資料にありますように、鳥栖市内の各学校に依頼文書を出して、お願いしたところです。多くの方々にご来場いただければと思っております。

ここまで、ご意見などないでしょうか。

(委員)

基山町教育プランなどで「子供たち」と漢字の表記がされているが、他の市町を見てみると、ひらがなのところも多い。ここについては、見直しをしてもらえないか。

(教育長) この表記については文部科学省が「子供たち」を多くのものに表記しているので、あえて漢字を使用させてもらっている。このことについては、来年度プランを作成する際に再度、協議させていただきたい。

日程4 報告及び協議事項

(教育長) 日程4の報告および協議に移ります。ガイダンスセンターの基本構想の決定についてお願ひします。

(事務局)

これまで関係団体や周辺住民の皆さんのご意見をお伺いしながら、ガイダンスセンターの基本構想案を作成した。団体、関係団体のアンケートの実施、教育委員会や議会にも説明させていただきながら、住民説明会、パブリックコメントなどをまちづくり基本条例に基づき実施してきた。

このたびこの経緯を踏まえ、基山町歴史まちづくり推進協議会において、ガイダンスセンター基本構想案が承認されたので、それを受け、基山町議でガイダンスセンター基本構想が決定したところである。

その決定までの経緯と今後のスケジュールについて説明させていただきたい。基本構想案の中身については以前、パブリックコメントで実施した内容と同様の内容で変更するものではない。

令和6年5月30日に議会の方に全員協議会で説明、ガイダンスセンター整備基本調査業務、これに基づいて、ガイダンスセンターの内容について説明をさせていただいている。その後、6月から8月にかけて、関係団体への説明やアンケート調査を実施し、基本構想案を作成した。

その後、基山町歴史まちづくり推進協議会で中央公園を候補地として進めるよう、ご承認をいただいたので、8月26日の議会全員協議会で、基本構想案、それから今後のスケジュールについて説明させていただいた。9月26日には、議会の方では、別途、勉強会ということで開催してもらい、現地を確認視察して

理解を深めていただいた。教育委員会では、令和6年度中には6回、令和7年度は6月を除き、毎回ご審議をいただいたところである。

10月には住民説明会、それからパブリックコメントを実施し、回答についてはホームページで公表させていただいている。

11月21日に開催した基山町歴史まちづくり推進協議会で、基本構想案が承認されたので、基山町庁議で基本構想の決定を行ったものである。

今後は来週開催予定の町定例議会の中で基山町都市公園条例の改正を上程させていただき、その後可決をいただいたら、令和8年度にガイダンスセンターの実施設計を当初予算にお願いし、8年度中に設計を完成させ、令和9年度にガイダンスセンターの建設工事に取り組んでいきたいと考えている。説明は以上。

(教育長)

今回一般質問で出ている部分でいうと、平成30年の計画では、歴史民俗資料館のようなものをつくるという話があり、埋蔵文化財をすべて収納できる収蔵庫や調査研究施設をセットでつくるべきとの意見を出されるようだ。しかし、収蔵に関しては議会からの指摘を受けて、車庫棟や通路にあったものを移動させ、水防倉庫、若基小学校の西側倉庫に動かした。おおむね問題ないと考えている。歴史民俗資料の展示は、旧図書館の2階にあったときどれぐらい利用されていたか調べると、3年間で1000人程度で1日にわずか1人しか来てないような状況だった。

ガイダンスセンターをつくるにあたって、様々なところを見てきたが、展示物だけ置いていても、なかなか集客は難しい。企画展で1ヶ月間展示するなど既存の図書館郷土歴史コーナーの展示で大丈夫だと思っている。

図書館がある中央公園にガイダンスセンターを作ることで、例えば御神幸祭のときに図書館での展示はやっているが、ガイダンスセンターがあると、そこでは映像を使ったものを行ったり、触れるもの出すなどコラボしてやれるようになる。子供たちがいつも行ける場所にあるというところで、メリットがある必要性、よさについてしっかりお伝えしたい。

あとは緑が削られて、公園の機能が損なわれるという心配もあるようだが今回条例改正数の1%分だけ都市公園のところ建物を建てられるようにするという改正のみであるし、今回建てようとしている公園の位置は、人が集って利用されている所ではない。公園を有効活用しながら、中央公園の機能を高めるということで、住民の皆さん方にいいものができたねと言っていただける施設になればいいなと考えている。

(委員)以前の歴史民俗資料館は、暗かったし、結構カビが心配な施設だったように思う。今、言われたように、まずはその保管する場所をきっちりと作ってということは大事なのかなと思う。

(教育長)将来的には考えたいと思っているが、ガイダンス施設の方が先だと思っている。

(教育長)

次に名義後援について説明をお願いします。

(係長)

資料にもとづき説明 3件 ⇒ 承認

(教育長)

10月の定例教育委員会会議録の承認についてはいかがでしょうか。

(委員)

異議なし

(教育長)

では、ご承認いただいたので、ホームページにも掲載することとします。

(教育長)

最後に当面の行事予定について資料をご覧になって確認をお願いします。

来月は各学校で授業参観や地域の方への感謝の会などが実施される予定です。また、町のイベントとしては、

7日の日曜日に第 34 回きやまロードレース大会・第 10 回きやまスロージョギング大会や翌週の日曜日には
ふ・れ・あ・い フェスタ、第9回きやま創作劇「夢を継ぐ者」公演などがある予定です。

最後ですが、来月、12 月の定例教育委員会は、来月 23 日(火)9 時 30 分から行います。

よろしくお願いします。以上で今月の定例教育委員会を終わります。

10 時 45 分終了